

2021 **5**

まつえ社協だより

第133号

今月の誌面

- P2 ● 令和3年度松江市社会福祉協議会事業計画
- P3 ● 令和3年度予算の概要
- P4 ● こんにちは、地域包括支援センターです
- 私たち、松江市社会福祉法人連絡会は市民のみならず、地域福祉活動を応援します!!
- P5 ● 新規連続企画「利用者の広場」に社協にご相談いただいた利用者のみならずの声を紹介します
- みんなに元気を届けよう★「おうちdeボランティア」趣味・特技編のご案内
- P6 ● 善意のご寄付ありがとうございました
- 「松江城・街美化ウォーク」

「ひとり一品運動」へのご協力をお願いいたします

松江市社会福祉協議会では「ひとり一品運動」を展開しています。これは、生活に困って相談に来られた方への緊急的な食料支援。また、昨年度から続く、**コロナ禍**において「仕事が無くなり収入が減少して困っている」などの「ひとり親世帯」約**160世帯**への継続的な提供をさせて頂いています。

是非、皆様からのご寄附をお願いいたします。

ご寄附いただきたいもの (なお、下記のもの以外は現在足りております)

食品

お米、パスタ、保存食品(缶詰・瓶詰等)、フリーズドライ食品、インスタント食品、レトルト食品
※注:賞味期限が明記されているもの、未開封であるもの、常温保存可能で賞味期限が3ヶ月以上あるもの、破損などで中身が出ていないもの、お米は常識の範囲内で古くないもの

日用品

洗剤(洗濯・食器用)、箱ティッシュ、ボディソープ・シャンプー、トイレトペーパー



12月は必要なものを選んでもらいました



3月に提供した品物

期 間 令和3年**5月10日**(月)～
令和3年**5月20日**(木)

受付窓口 松江市千鳥町70番地
松江市総合福祉センター
松江市社会福祉協議会1階総務課

お問い合わせ先

総務課 ☎21-5773 FAX21-5377

ボラカフェのご案内

日時 5月27日・6月24日・7月22日
8月26日・9月16日(第3木曜日)
10月28日・11月25日・12月23日

時間 14時～16時まで

場所 松江市総合福祉センター
(松江市千鳥町70番地)

ボランティア活動のきっかけづくりとして毎月第4木曜日午後にはボラカフェを開催しています。今後の開催は次の通りです。

自宅で古切手の整理をしていただく『おうちdeボランティア』も行っています。ご希望がありましたら、ボランティアセンターまでご連絡ください。

…古切手の寄贈も受け付けています。…

お問い合わせ先 松江市ボランティアセンター ☎27-8388

令和3年度

松江市社会福祉協議会事業計画

松江市社会福祉協議会は、市民誰もが安心して暮らすことができる『福祉でまちづくり』を地域住民の方やボランティアの方、福祉・保健・医療の多様な機関・団体と共に推進することを使命とします。

重点事業

重層的支援体制整備事業の推進

1

令和2年6月に改正された社会福祉法に基づき、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を、各地域包括エリアにおいて、コミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センター相談員が連携しあい、さらに地域福祉課、生活支援課、地域包括ケア推進課が協働しながら構築することで、対象者の属性を問わない「相談支援」、多様な「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に行う重層的支援体制整備事業に取り組めます。

重点事業

松江市権利擁護推進センター(仮称)の受託及び地域連携ネットワークの構築

2

権利擁護支援・成年後見制度の利用促進機能を強化するため、中心的な役割を担う中核機関「松江市権利擁護推進センター(仮称)」を市より受託し、令和3年7月より開設を予定しています。

中核機関は家庭裁判所や関係機関と連携をしながら、国の成年後見制度利用促進基本計画が定める「制度の広報」「相談」「利用促進」「後見人支援」等に関する各事業を推進していきます。

また、成年後見制度の利用を必要な人につなげられるように、権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築していきます。

重点事業

地域福祉の推進

3

29地区の第5次地区地域福祉活動計画の進捗確認、支援及び第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進するとともに、普及版を活用して「福祉でまちづくり」という意識醸成を図っていきます。そして、住民の生活ニーズを把握し、地域の困りごとをコミュニティソーシャルワークの手法をいかした「個別支援」と「地域づくり」とを連動させた支援を展開します。引き続き、地域への積極的、継続的なアプローチを進めるとともに「重層的支援体制整備事業」との一体的な運営を図り、地域住民をはじめ多様な主体の参画による地域共生に資する地域福祉活動を普及・促進していきます。

重点事業

地域包括ケアシステム実現に向けた事業の推進

4

令和2年度策定された第8期松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護・予防・医療・生活支援・住まいの5つのサービスを一体化した地域包括ケアシステムの実現に向けた事業を取組みます。

これまで国のモデル事業「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」を実施する中で、市内15か所に「ふくしなんでも相談所」を開設し、「断らない相談支援」の実践や各包括エリア(6カ所の地域包括支援センター)にグループリーダーとコミュニティソーシャルワーカーを配置し、より住民に身近な拠点での包括的な支援体制づくりを進めてきました。今年度からは、新たに「重層的支援体制整備事業」として移行実施し、あらゆる困りごとに対しチームとして受け止め、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援を行っていきます。

また、昨年度から松江医師会より受託した県の「医療連携推進コーディネーター配置事業」をさらに推進し、医療機関や訪問看護ステーション、行政等と連携しながら在宅看取りの提供体制づくりに取組みます。

重点事業

5

コロナ禍における生活困窮者等への継続的支援

昨年度はこれまでに私たちが経験したことのない新型コロナウイルスの感染拡大という脅威に見舞われた一年でした。新型コロナの影響による減収や失業された方に対する緊急小口資金等特例貸付については、本会として法人全体で応援体制をつくり貸付業務を行ってきました。しかし、いまだに収束の見通しが見えない不安な日々が続いており、具体的支援としても貸付制度だけでは限界もあり、支援できるメニューも限られてきています。今年度も、引き続き松江市暮らし相談支援センターを中心に、生きづらさを抱えた市民に対し、「寄り添う」ことしかできないかもしれませんが、孤立させることがないようにハローワーク等関係機関と連携しながら伴走型の支援を継続していきます。

重点事業

6

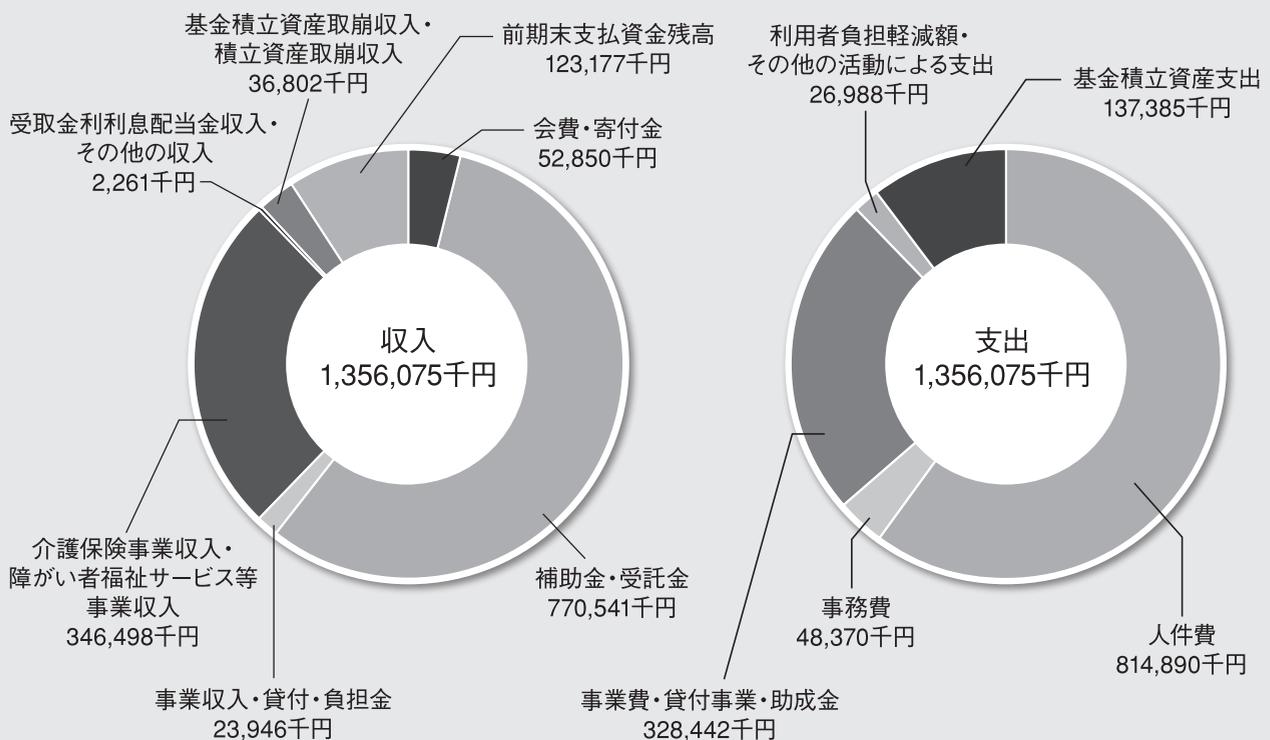
コロナ禍だからこそ、福祉教育の推進

コロナの感染拡大は、人と人のつながりを分断し、過度な不安や防衛の意識が「排除」「孤立」そして「差別」を生むことに繋がってしまいました。コロナ禍だからこそ、福祉教育をとおして、自らの生活を含めた社会と向き合い、人権意識を高め、共生に向けた態度を、より主体的・対話的に学び、「つながりの再構築」を図っていけるよう実践していきます。

実施事業

1. 社協運営及び機能強化
2. 地域福祉及び連絡調整の強化
3. ボランティア活動の推進
4. 総合相談・生活支援事業の推進
5. 介護保険関係事業の推進
6. 障害者総合支援法関係事業の推進
7. 児童福祉サービスの推進
8. 福祉施設等管理運営事業の自主及び受託

令和3年度予算の概要



こんにちは、地域包括支援センターです



ほうかつさん

いつでもご相談ください!

地域包括支援センターは、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続することができるよう、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが中心となって高齢者の方を含む皆様を支援します。

例えば...

だれかと一緒に
体力作りをしたい!



家族のもの忘れが
気になるが
どこに相談したらよいか
わからない...



自分の強みを
活かして
誰かの役に
立ちたい!



介護保険の
サービスを受けたいが
どうしたらいいの...



地域包括支援センターはふくしなんでも相談所として、高齢者の方に限らず相談をお受けし、相談内容によって専門機関等におつなぎします。
困ったことがあればまずはお近くの地域包括支援センターへご相談ください!

センター名	連絡先	担当地区(公民館区)
松東地域包括支援センター	☎ 24-1810	朝酌、川津、本庄、持田、島根、美保関、八束
松東サテライト	☎ 72-9355	
中央地域包括支援センター	☎ 24-6878	城北、城西、城東、白潟、朝日、雑賀
松北地域包括支援センター	☎ 82-3160	法吉、生馬、古江、秋鹿、大野、鹿島
松南第1地域包括支援センター	☎ 60-0783	津田、大庭、古志原
松南第2地域包括支援センター	☎ 52-9570	竹矢、八雲、東出雲
湖南地域包括支援センター	☎ 24-1830	乃木、忌部、玉湯、宍道
湖南サテライト	☎ 66-9355	

私たち、松江市社会福祉法人連絡会は市民のみなさまの 地域福祉活動を応援します!!

松江市社会福祉法人連絡会 活用サポートガイド



市民のみなさまが取り組まれる地域福祉活動等に、松江市社会福祉法人連絡会に加盟する社会福祉法人の人材や施設・備品等をご活用ください。



まっえワンラブアクション

松江市社会福祉法人連絡会

「松江市社会福祉法人連絡会活用サポートガイド」を 作成しました

市内46法人で構成する松江市社会福祉法人連絡会では市民のみなさまへの社会貢献活動として法人連絡会が行う講師派遣と物品貸出し事業の具体的内容と利用のながれを『松江市社会福祉法人連絡会活用サポートガイド』(A4版・全31ページ)にまとめました。

自治会町内会やなごやか寄合い会など地域で開催される活動や研修会等に、加盟法人に所属する専門職をご活用ください。活用サポートガイドの内容は松江市社会福祉協議会のホームページからご覧いただくことができます。
(<http://www.shakyou-matsue.jp/>)

お問い合わせ先

松江市ボランティアセンター ☎27-8388

「利用者の広場」

社協にご相談いただいた
利用者みなさまの声を紹介します。

第 回

介護予防・日常生活支援総合事業利用者
(Aさん60代、男性)

「自分が収穫した野菜を みんなに食べてほしい」

Q「社協で相談しようと思ったこと、きっかけになったことは何ですか」

A「父と母が相次いで介護が必要になり、50代後半で仕事を辞めました。以降は在宅で介護をした後、両親とも施設に入り、最後は病院で亡くなりました。貯金と両親の年金で生活していたため、お金が底について毎月の生活がギリギリの状態だったところ、心配した民生委員さんが社協を紹介してくれて、地域包括支援センターの職員が訪問してくれることになりました。自分ではどうしてよいかわからなかったので、ほっとしました。」

Q「相談してみてどうでしたか」

A「これまでも近所の方が気にかけてよくしてくれましたが、どこかさみしさもありました。気を紛らすのは毎日5合のお酒と、家に入り出している約20匹の猫でした。お酒が原因で事故に遭ったこともありますが、お酒を飲む生活は続いていました。社協の職員が約2年間通って来ました。最初はお金の相談でしたが、いろんな話を聞いてもらい、これまでは我慢していた体の不調も正直に話せるようになりました。その間にはお酒が原因で入院したこともありましたが今は飲みたいとは思いません。職員から地域の活動への参加を勧められたり、ヘルパーの利用を勧められたりし、今までは必要ないと思っていましたが、65歳になり「利用してみてもいいかな」と思うようになりました。ヘルパーが定期的にくるようになり、「ヘルパーはおれが死んでないか確認に来ている」と周囲には言っていますが、生活の張り合いになっています。」

Q「伝えたいメッセージをお願いします」

A「これまでは自分のペースで暮らしてきたので、誰かの世話になるのは嫌でした。今は畑仕事に精を出し、誰かのために野菜を収穫し、ふるまうのがやりがいになっています。自分のことを気にかけてくれる相手がいるのはうれしいものです。」

最後に
担当相談員から
一言

冗談が好きなAさん。「おまえたちは野菜の催促ばかりだ。」とぼやきながらも、「野菜が採れたぞ。今度はいつくるか」と定期的に電話をくださります。訪問すると「何しにきたかや」「知らん」と言いながら、訪問を待っていてくださりうれしいです。これからも元気で野菜作りを続けていただきたいです。

介護予防・日常生活支援総合事業とは

65歳以上の方を対象とした、松江市が行う介護予防事業です。介護保険の認定を受けていなくても、一人ひとりの生活に合わせていきいきとした暮らしを続けられるよう利用されています。

みんなに元気を届けよう★

『おうちdeボランティア』～趣味・特技編～のご案内

松江市ボランティアセンターでは、コロナ禍におけるコーディネート工夫の一つとして発表の機会や出演の機会が少なくなっている個人・グループ・団体とそれらの受け入れが出来ず楽しみの場が少なくなっている施設・なごやか会等をつなぐ試みとして、『おうちdeボランティア』～趣味・特技編～を実施しています。

その方法は、活動の様子を収録したDVDの寄贈、またはオンラインによる配信です。趣味・特技を活かした活動を希望されている方や発表の機会にぜひご活用ください。あわせて、利用についてのご相談もお待ちしております。

❖収録やオンライン配信に必要な機材や場所等にお困りの場合は、
松江市ボランティアセンターにご相談ください。☎27-8388

善意のご寄付ありがとうございました

善意のご寄付は、松江市社会福祉協議会篤志寄付金配分委員会と協議の上、
社会福祉団体等への補助金及び社会福祉事業へ配分いたします。
(ご寄付をいただいた方のお名前については、ご本人の了承のもとに掲載しています。順不同敬称略)

令和3年1月21日から令和3年3月20日受付分

【香典・玉串料返し等寄付金】

奥原 登
仁島 毅
遠藤 昭子(2件)
石田 透
平塚 智博
矢野 敏子
林 暢子
(故)佐藤 嘉一
吉岡 信道
楳林 剛史
柳浦 克己
梶野 孝彦
桑原 幸子
中谷 広正
和田 周平
新田 実
安部 克志
森脇 金一
周藤 健一
安部 和男
宅和 修
多久和 一規
山田 光
立原 有史
寺本 学
橘 真志
小谷 紀美子
永江 敏明
足立 忠
花本 義章
福田 秀樹
原田 芙美子
奥原 和哉
門脇 勝美
和田 純一

勝部 光明
奥原 啓三
小村 伸
岩谷 文子
鳥谷 富士夫
濱尾 宜行
宮廻 勝美
勝部 文造
池田 祐美
門脇 史子
野津 眞保子
秋浜 孝子
才田 英一
小村 喜代子
井上 睦子
都田 隆司
佐藤 幸雄
足立 英信
板垣 道代
土江 郁子
門脇 久幸
松本 安德
吉田 喜久江
川上 文恵
中田 昭子
石橋 秋正
原田 貢
青山 恵美子
渡部 治
渡部 さち子
渡部 昭夫
久保田 泰弘
福田 和子
三島 照子
吉野 英之
南濱 敬子

安達 徹
高井 禮子
曾田 清
舟木 美貴子
小村 茂芳
石橋 一志
三代 浩司
小村 勉
相見 哲雄
永島 正機
山根 隆司
細木 俊広
井上 智寿
山本 正臣
石原 幸夫
河上 和宏
土屋 健一
野津 与志郎
古藤 武好
龍河 敏子
佐藤 英昭
野津 義裕
木幡 勝之
山本 徳義
大江 徹
三島 洋子
松本 実
伊藤 俊彦
三橋 恵美
下瀬 宏
藤田 三樹夫
山崎 忠則
板橋 貴男
大塚 啓也
小山 誠
川上 登志江

坂浦 鈴子(2件)
犬山 幸子
加納 憲明
坂本 正志
佐々原 三江子
庄司 栄一
森脇 信博
森脇 ヨシ子
吉岡 孝延
藤井 一男
南波 サチコ
坂本 重敏
(故)恩田 弘實
藤江 和憲
廣江 信孝
大西 晴美
山田 幸夫
小田 一子
廣江 鉄也
川上 登志江
宮廻 輝美
太山 幸治
(故)川井 佳江
加藤 佳夫
金村 孝之
木村 詠子
和田 三郎
松本 幸江
三代 恭裕
今井 雅朗
三宅 勲
藤原 厚典
村松 和安
角田 章
三反田 典子
和田 隆

本田 真
西濱 歌子
野津 強
石原 康生
小村 晃史
山根 一夫
伊藤 房男
池内 馨
金森 千代子
青山 陽一
島崎 寛隆
森山 茂
山根 彰
高木 信昭
藤永 みな子
匿名 7件

.....
香典・玉串料返し等寄付金
計 168件
計 4,556,000円

【一般寄付金】
斐川モラロジー事務所
代表 三代 宏幸
松江市役所イルミネーション
有志一同
.....
一般寄付金
計 2件
計 211,058円

ご寄付は、松江市社会福祉協議会本所、支所、地区社会福祉協議会で受付しております。

「松江城・街美化ウォーク」

日時 令和3年6月5日(土)
7:30~9:00 少雨決行

参加者募集!

内容 松江城国宝化を記念し、城周辺の公民館(城東・城西・城北・法吉)または、JR松江駅を出発地として松江市民の皆様と清掃ウォーキングを一緒に行うことで交流を深めます。

申込方法 社協ホームページ掲載チラシ申込書により
5月25日(火)までにお申し込みください。

対象 松江市民 定員 なし 参加費 無料

お問い合わせ先 松江市ボランティアセンター
☎27-8388

主催 松江市ボランティア連絡協議会



発行・編集

松江市社会福祉協議会

松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター内 E-mailアドレス shakyo-m@web-sanin.co.jp
TEL(0852)21-5773 FAX(0852)21-5377 ホームページアドレス http://www.shakyou-matsue.jp

※点字版・音声版の社協だよりを希望される方は総務課までお問い合わせ下さい ☎21-5773
社協だよりの発行は共同募金助成金の一部を活用しています。